

この計画に問題があると思ったら

こんなアクションができます

1. 最新情報を知る

日テレ再開発計画は、通常の再開発計画と比較にならないほどのスピードでいろいろな事が動き、決まりつつあります。私たちはその動きをキャッチし、できるだけわかりやすく公開しています。守る会の公開 Facebook ページをフォローしたり、メーリングリストに登録して、この問題の「今」を共有してください。

2. 勉強会に参加して計画を詳しく知る

次回勉強会は8月29日(水) 19時に二番町の間人塾にて予定しております。(詳しくは「守る会」の Facebook ページへ)。今、どのような開発計画が日テレ所有地で上がっているのか。開発計画の議論の場として作られた「日テレ通り沿道まちづくり協議会」はどのような経緯で現在に至り、今後どのようなスケジュールで計画を固めようとしているか、ご説明いたします。

3. 陳情書に署名をする

2018年6月、議会に計画見直しを求める署名を提出しています。審議は継続中ですが、多くの方の署名が集まることで、議会も深刻に受け止めていただけるものと思っています。署名用紙は「守る会」の Facebook ページにあります。このパンフレットの中間右下の案内を参考にアクセスしてください。

4. 友達や近所の人に問題を話す

問題の解決に最も大切な要素の一つは「より多くの方に事実を知ってもらう」事です。多くの方が感心を持つち、何らかのアクションを起こすことで、みんなの意見が反映されることになります。「守る会」の Facebook ページ、メーリングリストより随時最新情報を発信しております。どうかみなさんでこの問題をお一人でも多くの人に知らせてください。

5. パブリックコメントを提出する

早ければ9月の初旬にも、千代田区により「まちづくり基本構想」の計画案に対する意見公募(パブリックコメント)が実施されます。意見を提出できるのは、千代田区の在住者、在学者、在勤者です。ひとりひとりが計画案に対する考えを述べる事が、地域をもっと良くすることに繋がります。詳しくは「千代田区 パブコメ」で検索。「守る会」の Facebook ページでも意見公募が実施され次第、ご案内します。

6. 区に問い合わせる

計画の内容について、なぜこのような計画が進んでいるのかなど、区の環境まちづくり部地域まちづくり課に、直接住民の素朴な疑問や意見をただしてください。疑問の声が直接伝わることで、疑問を持つ人が多いことが伝わります。

7. 協議会・区議会を傍聴する

この計画を協議、提案している「日本テレビ通り沿道まちづくり協議会」の資料については、「千代田区 まちづくり協議会」で検索することで資料も協議会の日程も知ることができます。また、当会が議会に提出した陳情は、まず企画総務委員会で議論、その後本会議に進みます。委員会、本会議とも傍聴可能ですので、詳しくは千代田区議会のホームページ、あるいは議会事務局に問合せてください。有権者が注目していることを示すチャンスです。

8. 区議会議員に意見を伝える

千代田区には25名の区議会議員がいます。居住する方ばかりで無く、在勤、在学の方にも耳を傾けるのが区議会議員の仕事です。日テレ再開発問題は千代田区議会の「企画総務委員会」にて審議中ですが、身近な地元の議員でも、ぜひ問題意識を話してみてください。千代田区議会のページを検索すれば、総務企画委員会のメンバーや連絡先もわかります。

残念ながら沈黙は賛成にカウントされてしまいます。どんなスタイルでも、意見を表明することが第一歩です。どうぞ、番町が住み続けたい町であるために、何が出来るかを考えていただけたら幸いです。

番町の町並みを守る会

お問い合わせ infobancho@machi-kaeru.com

※お送りいただきましたメールは「番町の町並みを守る会」の活動に関するご連絡以外の目的では使用致しません。

番町の住民と企業と行政が一緒に作った
60メートルの高さ規制が「日テレ再開発」に伴い
150メートルに大幅緩和されようとしています。

60M → 150M

例えば、飯田橋のサクラテラスの高さは148メートルです。

番町の住環境、教育環境を守るために

番町は江戸時代では武家地であり、近代では多くの文人が居を構えた地です。

今こそオフィスビルと住居が共存する地域ですが、創立100年を越す学校が7校もある文教地区でもあります。交通の便が良く、ほどよく賑わい、それでいて閑静なこの町は都心千代田のオアシスとも言えます。

ところが2018年5月、高さ制限60mの地区計画を変更し日本テレビ通り沿道にその2.5倍の150mの超高層ビルが建てられるようにする話が進められていることを知り驚きました。この地域の住民の多くはこの計画について知りませんでした。日本テレビ通り沿道に超高層ビルが建ったら、その周辺の住宅や学校はどんな影響を受けるのでしょうか？

驚き、心配になった住民や学校の保護者、卒業生などが急遽集まり、「番町の町並みを守る会」を発足し、何故このような計画が起こったのか、これからどうなるのか、どうしたらよいか、勉強会を重ね、公開のフェイスブックやグループメールにて情報発信や意見交換をおこなうに至りました。皆さまと自分の住む町について学び、語り、そして皆さまの意見や気持ちを少しでも行政に届けたいと思っています。



番町の町並みを守る会 一同

1

なぜ大幅な規制緩和が必要なのか、説明がありません。

現在の高さ 60 メートルのルールは、10 年前にオフィスや商業施設の地域、静かに暮らしたい住宅地域が互いに調和、共存するために都市計画マスタープランも踏まえて作ったものです。なぜそれを変える必要があるのか、変えた時に、地域にどんな影響があるのかを評価できる調査も説明もありません。

2

街の将来に大きく影響する「日テレ再開発」のプロセスが多くの住民に知らされないまま進んでいます。

7月28日に当会が主催した勉強会には、雨の中120人以上の方が参加されました、多くの方は、この計画を始めて知ったり、もっと早く知りたかったと言われていました。計画が地域のためと考えるのであれば、もっと堂々と計画の詳細を説明してほしいものです。

3

良質な文教地区と住宅街が繁華街化、24時間化する可能性

番町は創立100年を超える学校が7校もある文教地区で、都心でも有数の閑静な住宅街があります。他のテレビ局のように、常設型のイベント施設や24時間の集客施設ができる結果にならないかと私たちはとても危惧しています。



4

片側一車線の道路で超高層建設。将来の超高層乱立とインフラのパンクが心配です。

片道一車線、幅10メートル程度の道路は、住宅街や普段の生活に必要なお店にふさわしいインフラだと専門家も指摘します。将来日テレ再開発に誘発され、150メートルのマンションが乱立したとき、武蔵小杉や湾岸エリアのように交通、教育インフラなどのパンクを嘆くことになりかねないと危惧しています。

5

年1~2度のお祭りのための広場や駅のバリアフリー化と引き換えに150メートルへの緩和。街を大きく変えてしまうかも知れません。

この再開発計画は「地域に貢献する計画ならばいろいろな規制を緩和できる」という制度利用しています。その貢献とは、駅のバリアフリー化と年に2日の盆踊りのための広場です。駅のバリアフリー化は日テレ再開発とは関係なくぜひ実行して欲しいことで、150メートルへの緩和が条件というのは納得できません。また、広場はなくても神楽坂は毎年道路を使ってお祭りを開催しています。この街の将来を考えれば、それは本当に必要なのでしょうか。私たちは疑問を感じています。



一般に沿道地域として道路の両側は、規制がもともと緩やかなため、道路の両側に高い建物が連なることが多い。文京区のこの付近では道路の両側は46メートルまで。沿道地域から奥に入ると31メートルまでと比較的段差の少ない高さ規制だが、住宅街に影を落としている。

6

超高層マンションを選択したくないから落ち着いた番町を選んだ住民も多いのに。

まちの将来を住民が共有するために作られた都市計画マスタープラン(都市マス)では、番町を質の高い住宅街、中高層の落ち着いたたたずまいなど超高層を想像することは到底出来ない内容になっています。しかも、都市マスに基づいて60メートルの規制もあるので、この地に移り住んだという方も多はず。その住民が裏切られることのないように、考えてほしいのです。

7

ビル風と日影の住宅地「番町」では困ります。

超高層建築は広範囲の日影をつくり、風害も各地で問題になっています。私たちの住む番町をそんな街にたくありません。基本的に日影規制のない千代田区で、住宅の環境を守るためのもっとも強力なツールは地区計画のはずです。ところがわずか10年で大幅に緩和されるとすれば、どうすれば良いのでしょうか。これは石川区長にぜひお聞きしたいところです。

反対する7つの理由

日本テレビ通り沿道まちづくり協議会の経緯

2018年7月30日現在

年月日	委員会及び協議会・日テレ・千代田区の動き	住民・番町の町並みを守る会の動き
2014年7月	日本テレビ60mスタジオ建設発表	
2015年5月	スタジオ棟近隣住民説明会開催	紛糾するが、日本テレビは計画を実施
12月	日テレ通りまちづくり委員会発足	
2016年6月	5回の委員会の後、住民アンケート実施	
9月	委員会アンケートについての中間報告	
11月	沿道事業者と意見交換	
2017年1月	素案取りまとめ、沿道事業者と意見交換	
2月	沿道事業者と意見交換	
4月	「まちづくり方針(案)」に関する第1回意見交換会	住民参加
5月	「まちづくり方針(案)」に関する第2回意見交換会	住民参加
8月	委員会(案)を千代田区長に提出	
12月1日	委員会(案)を受けて協議会の設置を議会に報告	
2018年3月	第1回まちづくり協議会開催	
4月	第2回まちづくり協議会開催	
5月	第3回まちづくり協議会開催	協議会範囲の住民10名まで傍聴
5月		「番町の町並みを守る会」(以下「守る会」)発足
5月25日	区議会企画総務委員会「日本テレビ通り沿道まちづくりについて」報告	
6月16日		「守る会」主催 第1回勉強会開催→60名参加
6月27日		千代田区議会へ陳情書提出
7月4日	千代田区議会企画総務委員会で陳情審議(384筆)→継続審議	住民傍聴
7月7日		「守る会」主催 ミニ勉強会開催
7月10日	千代田区都市計画審議会開催 都市マスタープランの見直し審議	住民傍聴
7月12日	第4回まちづくり協議会開催	近隣住民がオブザーバー参加し意見を述べる・協議会範囲の住民20名まで傍聴
7月25日	千代田区議会企画総務委員会で陳情審議(461筆)→意見聴取を行う	住民傍聴
7月28日		「守る会」主催 第2回勉強会開催→120名
8月11日		「守る会」主催 ミニ勉強会開催
8月24日	スタジオ棟建物竣工式典(公開空地未施工)	
8月29日		「守る会」主催 ミニ勉強会開催
8月	パブコメ実施予定→延期	実施の場合は意見提出可能
9月3日	第5回まちづくり協議会開催予定	傍聴可能
9月7日	千代田区議会が双方の意見聴取	住民参加
または9月10日		

番町まちづくりメール登録↓
bancho.kankyo@gmail.com

※お送りいただきましたメールは「番町の町並みを守る会」の活動に関するご連絡以外の目的では使用致しません。

番町の町並みを守る会からのメール配信をご希望の方は左下のアドレスまでご連絡ください。

